



学校だより

# 伸びゆく子

平成31年4月26日  
横浜市立中沢小学校  
5月 号

たくさんの方に支えられて

校長 小倉 克彦

風薫る清々しい季節になりました。皆様におかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて今年度より、清水が丘方面の通学路を一部変更いたしました。新通学路の決定にあたっては、日頃より登校の見守りをしてくださっている地域ボランティアの皆さん、保護者や町内会の皆さんからたくさんのご意見やご質問をいただきました。また、新たに子どもたちが通行する地域の皆様にもご理解をいただきました。本当にありがとうございます。

新しい通学路は、自動車の交通量が多いこれまでの通学路を迂回しますが、この交通量の多い道路を横断しなければなりません。現在、この横断箇所にはほぼ毎日いらして下さっている宮寺さんをはじめ、地域のボランティアの方が計2名、保護者の方が1名、学校から校長か副校長が交通整理や子どもたちの横断指導を行っています。そして、NT 駐在所の佐々木さんも子どもたちの歩き方や横断指導のためにいらして下さっています。

この場所に居ますとたくさんの方がお声をかけてくださいます。「心配だから一度見にきました」という保護者の方には「たくさんの方が見守ってくれていて安心しました」というお声をいただきました。地域の方からも「学校が掲示した注意喚起の看板はもう少し角度を変えた方が見やすい」「新通学路で安全に登校できるようになるといいですね」などとお声をかけていただきました。

新通学路の決定に際しては、「正解の通学路」はなく、「決定後にどのように見守っていくか」が大切であると考えてきました。まだ、はじまったばかりですが、たくさんの方が関心をもってくださり、たくさんの方が子どもたちの横断にかかわって下さっていることに感謝をするとともに、この体制を大切に続けたいと思っています。保護者の方とお話をさせていただく中には、登校の列が渋滞して学校に到着する時間が遅れているという情報もいただき、課題も出ているところです。新通学路に伴う体制づくりはまだまだこれからだと思っています。ご意見やご感想などは是非学校までお寄せください。

先日の懇談会で「中沢小学校の教育活動で大切にしたいこと」について各学年担当者よりお話をさせていただきましたように、子どもたちの「安心できる、楽しい学校生活」の実現に向け、これまで以上に保護者の皆様とともに教育活動を展開することを大切にしていまいります。

早速、運動会のスムーズな運営にむけてのボランティア依頼をいたします。昨年度いただきましたたくさんのご要望を受けた役割分担になっています。保護者の皆さんとともに、子ども、ご家族、地域の皆さんにとっても思い出に残る運動会をつくりたいと思っています。職員一同力を合わせて努力してまいります。5月もよろしくお願いたします。